

「北海道におけるスポーツ・ツーリズムの推進」

～TOYOTA BIG AIRに着目して～

札幌大学東原研究室 A チーム

○桑原巧 金谷駿 高橋優也

土谷流星 小山静香

1 背景

スポーツ・ツーリズムとは、日本の持つ自然の多様性や環境を活用し、スポーツという新たなモチベーションを持った訪日外国人旅行者を取り込んでいくだけでなく、国内観光旅行における需要の喚起と、旅行消費の拡大、雇用の創出にも寄与するものである。

現在、北海道では観光庁が中心となりスポーツと観光事業を合わせたスポーツ・ツーリズム政策を行っている。その中でも、TOYOTA BIG AIR は北海道の冬のスポーツ・ツーリズムの代表的なものであるが、年間の札幌への観光客数の推移では、春から秋にかけての観光客数に比べて、冬の観光客数は大幅に低下している現状にある。

その解決策として各団体・企業間での効率的な連携をはかること、その中で伝統を生かした上で、新たな企画へのチャレンジが求められている。

そこで、札幌大学チーム A では、冬の札幌来観光客の増加を目標とした北海道ならではのスポーツ・ツーリズムについて言及する。

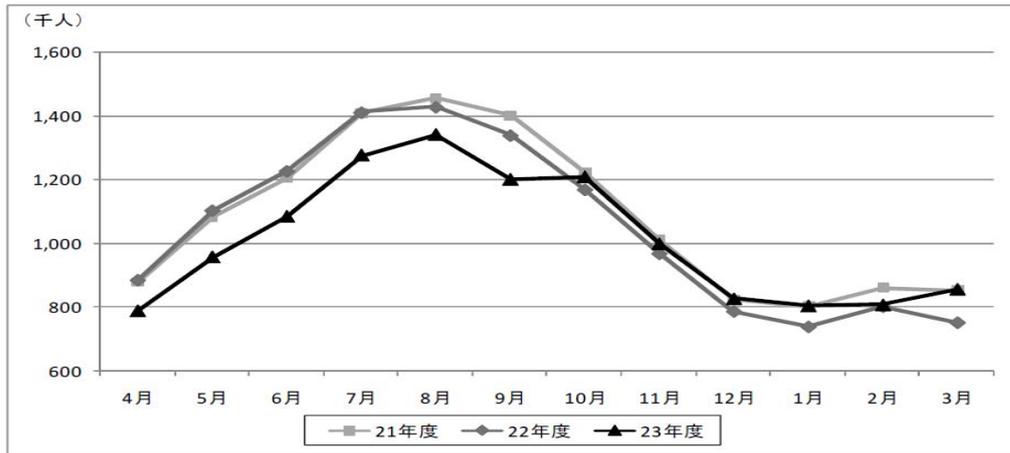


図 2-2 月別入り込み数推移

図 1 札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課「月別入り込み数の推移」

2 スポーツ・ツーリズムの必要性

スポーツツーリズムを推進していくことにより、新しい旅の魅力を作りだし、交流人口の増加を目指し、スポーツの切り口で観光地の多種多様観光資源を顕在化させ、観光

力の向上させる。北海道は、冬の観光客が圧倒的に少なく冬の宿泊者なども同じく少ない。冬がメインで観るスポーツと言えば札幌ドームで行われている、TOYOTA BIG AIRだ。TOYOTA BIG AIRは何故あんなに人気が出たのか、それを使って北海道の旅行者が増えないかと思う。この図2をみると札幌旅行者は北海道にスポーツを「見る」「やる」ために行動をとっていなかった、これはスポーツ目的とした旅行者を増やすことができる。このTOYOTA BIG AIRの様なスポーツイベントを学生だけで開催し旅行者を北海道に呼び込むことが可能である。

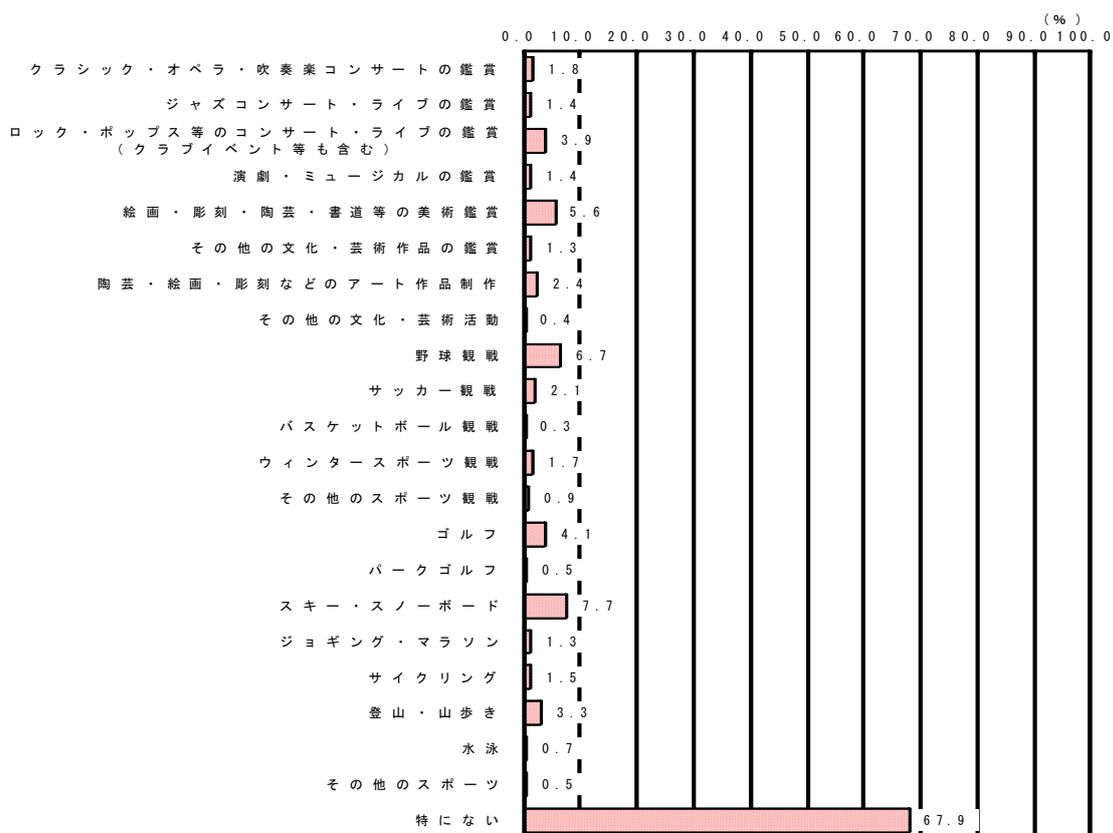


図2 札幌市スポーツ産業発展可能性調査より

3 北海道におけるスポーツ・ツーリズムの現状と課題

北海道の観光事業において、いくつかの問題が起きている。

- 1、来札観光客数が、平成18年から年々減少傾向にあること。平成18年の過去最高来札観光客数を記録してから、過去にないペースで減少している。
- 2、シーズンによって観光客数が極端に増減していて、安定性に欠けること。これは、夏が過ぎると、ゆるやかに観光客数が減少し、冬になると夏のピーク時から1/2程度になる。このような現状から、課題が浮かび上がってくる。年々観光客数が減少していることと、冬に極端に観光客数が少ないことは密接に関係していて、冬に観光客を呼び込むことができれば、観光客数も増加することができる。

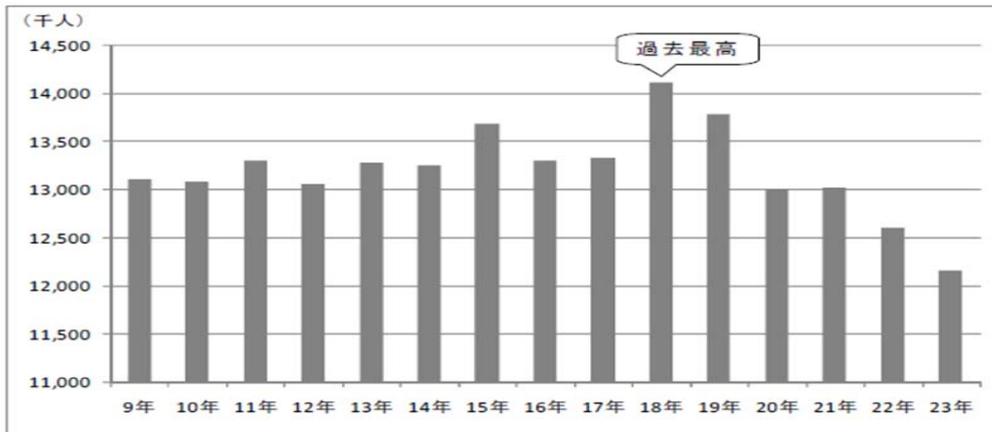


図 2-1 来札観光客数の推移

図 3. 札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課「来札観光客数の推移」

4 問題提起

北海道の観光客の推移は平成 18 年度を最高に年々減少している。その理由は様々だが、少数の団体だけでは観光客でこの問題を解決できるのは極めて難しい。TOYOTA BIG AIR は開催場所をうつしてから入場者数が増えていき、去年は 3 万 6 4 5 3 人までになった。しかし、TOYOTA BIG AIR の入場者数が増えているのに関わらず札幌の冬の観光客数は減っている。これを元に、札幌ドームで冬のイベントを開催すれば観光者数も増えていくのではないかと思う。

少数の団体だけではこの問題を解決するのは極めて難しい。よって多くの団体が連携していき、どのようにして冬の北海道に観光客を増やしていくかを考えていくべきなのではないかと思う。

5 政策提言

学生中心の組織を作り、スポーツ団体、スポーツ関連企業、旅行関連企業と連携をとり TOYOTABIG AIR のような大きなイベントを企画し運営する。

- 1) 運営体制、管理・監督は複数の大学の教授が行い、各大学の学生はボランティアという形で運営・企画・広告・営業大会運営スタッフの業務を行う。
- 2) 各組織間での情報共有。北海道の特色を活かした、一過性ではないスポーツイベントを定期的で開催する。
- 3) 学生の育成の機関として行う。
- 4) カリキュラムを作成するため、スポーツ政策論、スポーツマネジメント論、レジャー一産業論などのような資格を取得する。
- 5) スノーボードクロスを札幌ドームで行い、TOYOTA BIG AIR と同じ形式で開催す

る。

6) 学生中心で行う理由、学生は就職するための準備段階であり、学生が実際に現場にでて、コミュニケーション能力・マネジメント能力・リスクマネジメント能力など、学生では経験することのできない事ができ能力向上が期待できる。

スノーボードクロスとは

旗門で規制されたコースを滑走し、タイムを競ったり、複数名（一般的には4～6人）が同時に同じコースを滑走して着順を競い合う。1000メートル前後のコース中に、特殊な地形が織り交ぜられており、それによってコースの難易度が変わる。複数人で競技するため、接触、転倒も多く、速く滑れる選手がそのまま勝つとは限らず、下位選手も先行する選手のミスなどで一気に逆転が可能である。

6 まとめ

スポーツ・ツーリズムという旅行・観光が注目されてきている中で、札幌への旅行産業の発展や観光客誘致、多角的なビジネスの向上が求められてきていると我々は考える。そのためにもスポーツ・ツーリズムを組織して活動していける人材育成は重要なものであり、北海道の特色を活かした活動を今後のスポーツ・ツーリズムの発展、札幌来観光客の増加へとつなげる。

7 引用・参考文献

- ・スポーツ・ツーリズム推進基本方針～スポーツで旅を楽しむ国・ニッポン～平成23年6月14日 スポーツ・ツーリズム推進連絡会議
- ・札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課「来札観光客数の推移」
「月別入り込み数の推移」
- ・札幌市スポーツ産業発展可能性調査
- ・TOYOTA BIG AIR2013年来客数
<http://www.asahi.com/area/hokkaido/articles/MTW20120214010200003.html>
- ・スポーツツーリズム推進連絡会議事務局
スポーツツーリズム推進の方向性スポーツツーリズムを推進する意義とインバウンド拡大に向けたビジョン
- ・スノーボードクロスウィキメディア
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%83%8E%E3%83%BC%E3%83%9C%E3%83%BC%E3%83%89%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%82%B9#.E6.A6.82.E8.A6.81>